

息子たちが語る 素顔の長沖一

—父として、作家として、教育者として—

鼎談 長沖 博氏 × 長沖 渉氏 × 永岡正己氏

(長沖一氏長男)

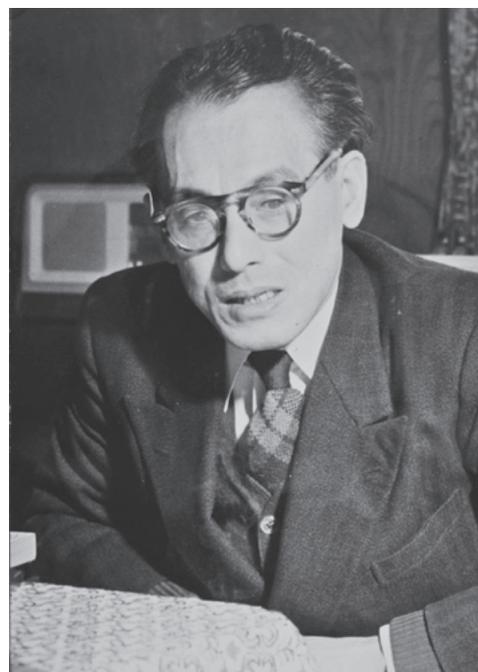
(長沖一氏次男・元NHKディレクター)

(日本福祉大学名誉教授)

司会：浦 和男氏 (関西大学人間健康学部)

大阪の歴史と文化と産業を発信する季刊「大阪春秋」では、2019年秋号で「長沖一」の特集を組みます。長沖一(1904-1976)は、「アチャコ青春手帖」「お父さんはお人好し」などのラジオドラマの脚本家として知られますが、藤澤桓夫らと文芸同人誌「辻馬車」で活躍、幻の名作と言われた「肉体交響楽」などの小説を数多く執筆するとともに、帝塚山学院大学で教鞭をとり、同短期大学部の学長もつとめるなど、マルチな才能を発揮しました。そんな大阪を代表する文化人の一人である長沖一氏の生涯とひととなりを知るために座談会を企画しました。ご登壇いただくのは、氏のご令息お二方、長男の博氏と次男の渉氏、そして長沖一研究の第一人者の永岡正己氏です。お三方は帝塚山での幼馴染みでもあり、三者三様の長沖一の素顔をお話しいただけることでしょう。

※この対談のもようは、再編集して「大阪春秋」秋号に掲載します。



長沖一氏

日時 2019(令和元)年6月1日(土) 14時～16時(13時30分開場)

会場 社会福祉法人 阿倍野区社会福祉協議会 2階 (あべのボランティア活動センター)
大阪市阿倍野区帝塚山 1-3-8 阪堺上町線姫松駅すぐそば (東側)
電話 06-6628-1212

定員 60名 (当日先着順)

参加費 無料

問い合わせ (株)新風書房 06-6768-4600

共催：大阪春秋編集室＋帝塚山派文学学会＋大阪文学振興会＋
浦和男研究室 (公益信託高橋信三記念放送文化振興基金助成研究「関西大学総合図書館『大阪文芸資料』島ひろし、長沖一
旧蔵台本の調査と活用」)
協力：社会福祉法人 阿倍野区社会福祉協議会＋関西大学なにわ大阪研究センター特別研究「なにわ大阪『笑い』文化の再検討」班＋
NPO 法人すみよし歴史案内人の会＋あべの会＋一般社団法人住吉村常盤会